

第2回高知信用金庫医学研究賞成果報告会が開催

2025年10月14日、高知市の三翠園にて第2回高知信用金庫医学研究賞成果報告会が開催され、山本 新九郎先生(泌尿器科学講座／光線医療センター)が「がんに挑む、光とAIと免疫のチカラ～高知から始まる医療イノベーション～」と題して、1年間の研究成果を報告されました。本講演は市民公開講座としても行われ、多くの市民や医療関係者が参加し、光線医療の最前線とその未来に向けた研究の展望を共有する貴重な機会となりました。

また、今年度は大学院生の重久 立先生も同賞を受賞(“見逃されるがん”を見逃さない:膀胱がんにおける光線力学診断の偽陰性問題への挑戦)され、若手研究者としての今後の活躍が期待されています。

高知大学医学部では昭和53年より、高知信用金庫様から長年にわたり研究活動へのご支援をいただいております。令和5年度からは「高知信用金庫医学研究賞」として制度化され、地域医療の課題解決に挑む若手研究者を継続的に支援いただいております。こうした地域金融機関と大学の連携は、地方から世界へ発信する医療研究の推進に大きく寄与しています。

今後も高知大学光線医療センターでは、「光」を用いた革新的ながん診断・治療の研究を通じて、地域発の医療イノベーションを世界に発信してまいります。今後とも温かいご支援をよろしくお願いいたします！



光線医療関連 学会発表

下記の学会発表が行われました。

[筆頭] 井上啓史

「光で診て、光で治す」

10月 11日(土) 第75回 仙萩会総会特別講演 仙台

[筆頭] 前田将宏

Medical Imaging Projection System(MIPS) を用いた大腸癌手術の3例の報告

2025年9月11日第100回中国四国外科学会総会 岡山

光線医療関連 受賞

下記の受賞式が執り行われました。

重久 立

研究課題名:「“見逃されるがん”を見逃さない:膀胱がんにおける光線力学診断の偽陰性問題への挑戦」

2025年10月14日令和7年度 高知信用金庫医学研究賞受賞 高知市(三翠園)

光線医療センター ニュースレター

2025年 10月 24日 発行

発行責任者・編集責任者: 井上 啓史

(高知大学医学部 光線医療センター センター長)

文責: 福原 秀雄

<https://www.kochi-u.ac.jp/kms/CPDM/index.html>